

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 災害対策基本法について 能登半島地震の教訓を踏まえた災害対策基本法の改正に対する所見と、県としてどのような支援の充実を図っていくのか聞く。	知 事 危機管理部長
2 所有者不明の空き家対策について 所有者不明などで公費解体が進んでいない物件について、市町と連携し、何らかの対策を講じるべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 生活環境部長
3 災害復旧対策について (1) のと里山海道の4車線化を力強く推進していくことが、能登の復興の希望になると考えるが、所見を聞く。 (2) 自然災害の未然防止のためには、単なる復旧だけでなく、災害復旧工事と合わせた減災対策が必要と考えるが、所見を聞く。	知 事 土 木 部 長
4 浄化槽設置の特例について 珠洲市で認められた浄化槽設置の特例を他の自治体でも適用できるように対応すべきと考えるがどうか。	知 事 土 木 部 長
5 体育館の電源再エネ設備について 避難所では太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギー設備や蓄電池などの導入が必要であり、県立学校体育館の空調整備に合わせて電源再エネ設備を導入してはどうか。	教 育 長
6 和倉温泉の創造的復興について 県、七尾市、和倉温泉関係者が連携し、今まで以上に魅力的な未来を見据えた創造的な復興を速やかに推進すべきと考えるが、和倉温泉に対する思いと復興支援について聞く。	知 事 商工労働部長 土 木 部 長
7 のと鉄道への支援について 利用者の減少を食い止めるため、団体旅行や修学旅行、全国からボランティアで来られた方などに、積極的にのと鉄道を利活用いただけるよう働きかけていくべきと考えるがどうか。	知 事 企画振興部長

この質疑要旨は、6月16日午後5時45分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
8 感震ブレーカーの設置支援について 県内全戸に感震ブレーカーが行き渡るよう、具体的な数値目標も示して取り組んでほしいが、所見を聞く。	知 事 危機管理部長
9 住宅の再建について (1) 被災地の更地を一戸建ての災害公営住宅等の用地として活用できないか、所見を聞く。 (2) 宿泊施設の少ない能登では、応急仮設住宅の空室を有効活用すべきと考えるが、空室は何戸あるのか。 (3) 応急仮設住宅の空室を工事事業者や支援者等に貸し出すことにより、復旧・復興の加速化にもつながると考えるがどうか。	知 事 復旧・復興推進部長 土 木 部 長
10 国民健康保険の被災者医療費支援について (1) 特に被害が甚大であった奥能登2市2町において、どれくらいの方が医療費の窓口負担免除の対象となっているのか。 (2) 国は9月末まで支援を延長するとしており、引き続き、被災者に医療費の窓口負担免除による支援が届くよう取り組んでほしいが、所見を聞く。 (3) 市町が保険料の上昇を心配することなく医療費の窓口負担免除を継続できるよう、国に対し、保険者への様々な財政支援を講じるよう求めているがどうか。	知 事 健康福祉部長
11 子宮頸がんワクチンについて (1) 本県における直近の子宮頸がんの罹患者数と死亡者数を聞く。 (2) 直近までのキャッチアップ接種対象者、定期接種対象者、令和7年度中に接種期限を迎える高校1年生の接種率を聞く。 (3) 令和7年度中に接種期限を迎える高校1年生の未接種者に対しては、個別通知による情報提供を徹底するよう、各市町に文書を発出すべきと考えるがどうか。 (4) 接種率向上のため、定期接種対象者やその保護者に対し、どのような周知、啓発を行っていくのか。	知 事 健康福祉部長

この質疑要旨は、6月16日午後5時45分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 3

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
12 がんアピアランスケア支援について (1) 県内では、これまでどれだけの患者が助成制度を利用しているのか。 (2) 抗がん剤による脱毛を軽減されている頭皮冷却装置による治療の県内医療機関における導入状況を聞く。 (3) 頭皮冷却装置用のキャップを助成の対象とすべきと考えるがどうか。	知 事 健康福祉部長

この質疑要旨は、6月16日午後5時45分に取りまとめたものです。